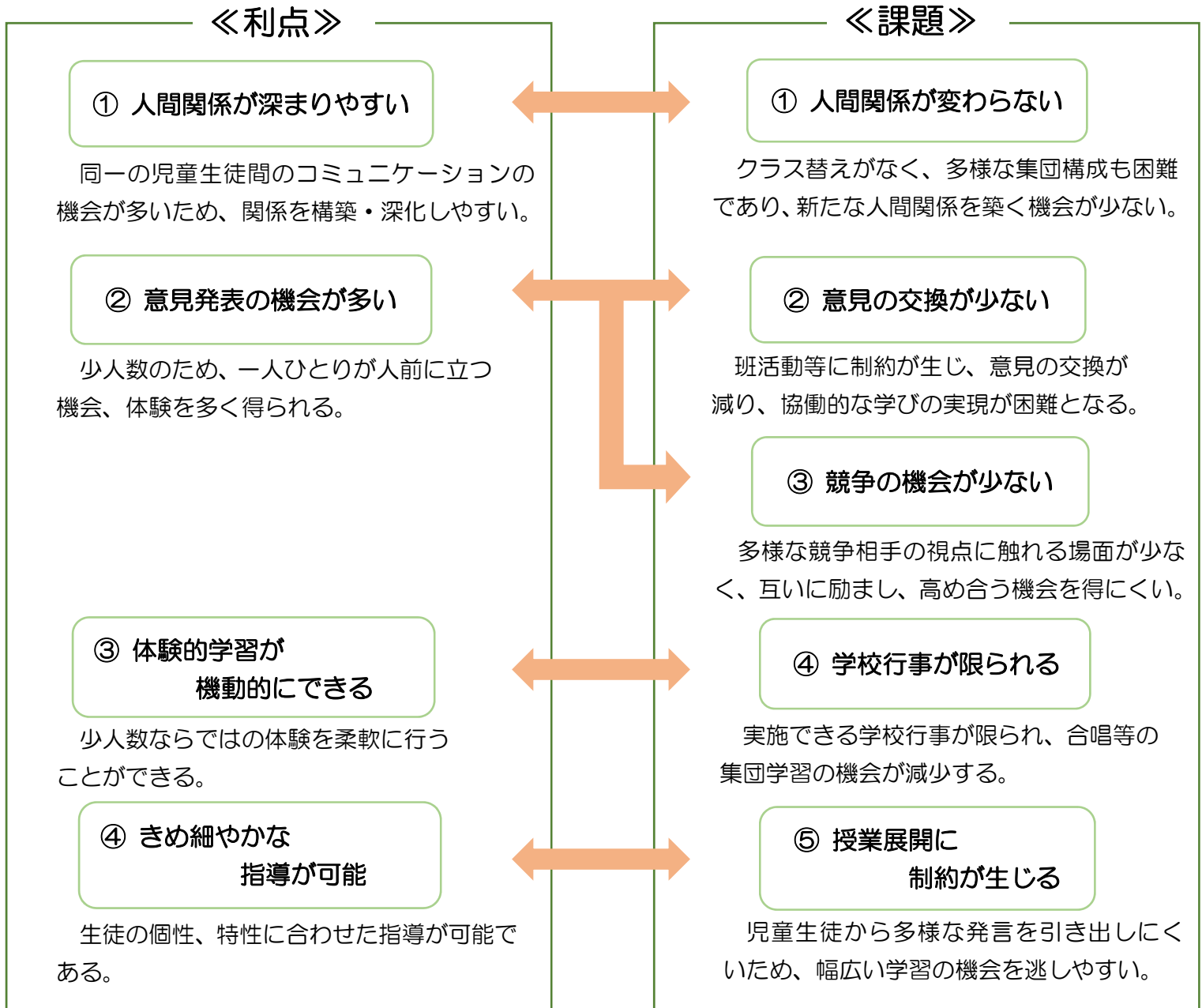


愛西市教育委員会では、愛西市立小中学校の適正な規模の検討並びに老朽化対策を進めています。
 今回 (Vol.2) は、「学校規模及び学校配置の適正化の必要性 (規模による利点と課題)」について、お知らせいたします。

『愛西市立小中学校適正規模等基本方針』(令和4年6月改訂) では、小規模校の利点や課題を、次のとおり整理しています。



愛西市教育委員会では、児童生徒のより良い教育環境の確保という観点から、適正化を行うことで、以上の課題を改善する必要があると考え、小中学校の適正な規模の検討を進めています。

裏面もご覧ください。特に小規模中学校について、適正化を図ることによる効果を掲載しています。

小規模中学校の規模適正化による効果

1. 社会性を育む機会を設けることができます

子どもたちが日々
様々な集団の中で過
ごし、話し合い、活
動する



問題解決能力やルー
ルを守る意識を高める
ことにより、社会性を
育む

このような体験機会が増えます。

多様な考えに触れ、認め合
い、競い合う機会が多くなり
ます。

問題解決の力や人間関係を築
く力を育て、社会性や規範意識
が身に付いていくことが期待で
きます。

2. 効果的な学びが展開できます

一斉指導
(教師主導)

+

対話的学習
(生徒主体)

協働的な学びの展開

多様な集団構成による、
様々な意見との触れ合い

学びの共同体

生徒同士、教職員や
地域の人との対話

集団を前提とした授業が
可能になります。また、クラス
替えによって新たな交流が進み、
多様な意見に触れられます。

学習活動の内容によっては、
クラスを超えた集団を編成する
ことができるようになり、より
効果的な学びを展開することが
期待できます。

3. 教科専門の正規教員を揃えることができます

・中学校教員配置定数

	過小規模校			小規模校			適正規模校		
通常学級数	3	4	5	6	7	8	9	…	18
正規教員配置 数(人)	10	11	12	13	14	16	17	…	31

中学校は9教科あります。適正規模校では教科専門
の教員が揃い、生徒の能力を引き出す機会が増えます。

学校に配置される教員は、学校
の規模によって決まります。

教員の数が増えると、教科ごと
に複数の教員が配置され、さらに
生徒と教員とのコミュニケーション
が取れ、生徒能力がより引き出
される機会が増えることが期待で
きます。

ご意見やご質問等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

令和5年7月(Vol.3)では、「学校施設の老朽化」について、お知らせします。

発行：愛西市教育委員会事務局教育部学校教育課

0567-55-7136 / gakkou-kyoiku@city.aisai.lg.jp